

【浜松市】地域における浸水状況の正確な予測と迅速な把握

課題の背景

現在、一部河川に水位計が設置され定点による観測が行われているが、越水位置が別の場所であると把握できない。また、内水氾濫においては、市民から通報があるまで把握できない状況である。

災害対策全般において、迅速な状況把握及び対応が求められており、様々な情報を基にした、浸水状況の把握が必要とされている。

求められる要件(機能要求・関連基準等)

- ・ 過去の蓄積した浸水データを管理・分析することで、事前に危険個所を把握する。
- ・ 正確に浸水状況を予測することで、確実な事前対策を行う。
- ・ 詳細な浸水状況をリアルタイムに把握することで、素早い応急対応を行う。

【機能面】

- ・ クラウド化及びLPWA回線等の活用による安価な管理経費
- ・ 様々なセンシング等によるリアルタイムな情報収集
(川、下水道、ため池、地下道、浸水しやすい道路等)
- ・ アプリ等を活用した市民へのリアルタイムな情報提供
- ・ AIによる確度の高い浸水範囲の予測
- ・ 気象庁等のデータとの連携
- ・ 安価な導入及び運用経費
- ・ 様々な自然環境(海、山、川、湖、都市部など)において、広範囲(市域約1,500km²)に対応が可能